

新年度です！安全・安心な環境づくり

訪問つうしん 19号
令和5年5月発行

新年度が始まり2か月が経ちました。新しい環境に慣れてくると、子どもたちの活動範囲が広がり興味関心もどんどん広がっていきます。新しい場所やはじめての経験の中では、予想できない行動も増えてきます。日々保育を楽しむために、改めて「**基本のき**」を確認し、子どもの特徴や特性の共有、安全・安心な環境、職員間の連携等の見直しをしてみましょう。



人数確認

- ・部屋移動の際、人数確認していますか。
- ・子どもの居場所を把握していますか。
(部屋やトイレ、園庭、散歩先等)
- ・人数確認のダブルチェックはできていますか。

園庭や屋上、部屋、トイレでの置き去り事故、園からの抜け出し、散歩先での行方不明事故が起きています。

子ども一人ひとりを見失うことがないように人数や居場所を職員同士で確認しましょう。

安全点検

- ・玩具の大きさや素材は子どもたちの成長に合っていますか。
- ・室内に転倒の可能性や落下の可能性などある物は置いていませんか。
- ・公園等の固定遊具は年齢に合っていますか。

玩具の誤飲による事故、室内のコード類による転倒事故、園庭の花壇のコンクリートで顔を打撲して眼窩骨折事故が起きています。

日々の安全点検を通して、職員全員で意見を出し合い危険に対する感度をあげましょう。

安全に遊ぶために

- ・園全体で遊びのルールを確認をしていますか。
- ・職員間で、声を掛け合っていますか。
- ・子どもの特性、当日の体調等を共有していますか。

園庭で何組かが鬼ごっこをしていて衝突、滑り台を滑ろうとした子どもがバランスを崩して落下、手をつないで歩いていた相手が転び一緒に転倒した等の事故が起きています。

遊ぶスペース等は発達差を考慮して、子ども全体の動きを職員間で共有しましょう。固定遊具等で遊ぶ時のルールを確認しましょう。

認め合う仲間と

- ◇忙しい時こそ深呼吸、慌てないことが大切です。
- ◇わからないことや、「あれ？」と思ったことがあったらすぐに周りの人に話しましょう。
- ◇いろいろな意見や気づきを大切にしましょう。
- ◇職員間で子どものエピソードをたくさん話しましょう。
- ◇自分たちの心身の健康も気をつけましょう。

笑顔で保育を！



「知っておこう」「気をつけよう」

日々の保育の中で、危険な場面はありませんか。いくつかの事例をご紹介しますので、必ず共有をお願いします。



食事時の危険

【 窒息・誤嚥 】

- ・苦手な食べ物が入った時、眠くなった時、無理に食べさせていませんか。
- ・嫌がる素振りをした時はどうしていますか。

＜無理強いすると飲み込めずに窒息の危険があります。＞
＜食事時の熱性けいれんで窒息した事例があります。＞

食べさせ方を皆で確認してね。

その子のペースで食べさせてね。

食事の最後まで目を離さないでね。



【 ミルクの温度 】

- ・授乳前に、ミルクの温度を確認していますか。
- ・哺乳瓶の表面だけ触って冷ましたと思っていませんか。

＜ミルクの温度が熱くて子どもが火傷をした事例があります。＞

手順を周知してね。



睡眠中の危険

【 子どものストレス 】

- ・初めての午睡や慣れない不安を理解していますか。
- ・複数の子どもが泣きぐずった時のプレチェックはできていますか。
- ・手が足りない時、ヘルプの職員を呼べる体制ですか。

＜寝ぐずりのまま嘔吐をしていたことに気づけなかった事例があります。＞



体に触れてプレチェックをしてね！

入園初期 SIDS 発症リスクが高まる傾向があります。

新入園のお子さんのストレスは幼児でも大きいです。

応援体制の仕組みを園全体で考えてね！

園内研修用動画の紹介

- ・横浜市保育・教育施設研修動画「よりよい保育のために」をご存じですか。
＜園内研修用にぜひご活用ください。＞

受講方法：動画配信(YouTube) 右の二次元コード、または、本市ホームページからご覧いただけます。

